

理事長奮戦記

- かえるくん、修繕委員長になる -

とある郊外住宅地に建つ築11年のマンション。そこ住む「かえるくん」は、管理組合理事長になった後も、昨日の明後日が一昨日と同じ日々を過ごしていた。総会では近づく大規模修繕工事に向けて修繕委員会を発足させ、次の理事長さんに引き継ぎを行い、そして理事長の任期もおわって普通の日々が訪れたはずだった……

かえるくん、修繕委員長になる

管理組合からの「修繕委員募集」というチラシがポストに入っていた。「自分が言い出したことだから、ここは流利的に募集に応じるのが礼儀というものだろうなあ……」などと考えて、名前を書いて管理組合ポストに投函しておいたのは、前回の通常総会からひと月ぐらいたったときのことだったと思う。その後は日常に追われて、すっかり忘れていたのだけれど、ある日、ミミズク似の管理会社の担当者（総会を境に担当者は代わったのだった）から電話がかかってきた。

「修繕委員会に応募して頂きましてありがとうございます。つきましては〇月〇日に最初の顔合わせを行いますので、是非ご出席ください」

というわけで、当日伺ってみると、なぜか理事会のメンバーが揃っていた。

挨拶もそこそこに、たしか今日は修繕委員会だと聞いていたのですが……と訪ねると。「そうですよ」とのこと。まあ最初だからね、理事会のメンバーも出席しているのだろうと思っていたが、定刻を過ぎ、会議始めますよとなったところで、理事会以外のメンバーは僕しかいないじゃないですか。他の修繕委員はどうされたのですか、都合が合わなかったんですかと聞くと、

「任、募集ニ 応ジテ 頂タハ、かえるくんガケシ」

いやいや、なにいつてるのかさっぱりわからないのですが……

「本当ニ、募集ニ 応ジテ 頂タハ、かえるくんガケシ……」

そうか、あのあと何度か追加募集のチラシが投函されていたのは気づいていたけど、僕しか応募していなかったとはおもわなかったですよ……

みんな関心ないんだなあ……

「リアズ 現行ノ 理事会メンバート、かえるくん デ 修繕委員会ヲ 発足シタト 思マス。ツキマテハ マズ 修繕委員長ヲ 決テ 頂テ……」

いやいや、修繕委員として応募したの僕しかいないのだから、委員長の手は僕しかいないですよ……

思えば、このマンションの理事会は2ヶ月に一度しか開催されないから、いつも3時間ぐらいかかっていて、そこに大規模修繕工事話までやってきたら理事会はパンクしちゃうから、負担を減らすために修繕委員会を作ったはずなのに、結果的に負担の軽減になっていないじゃないですか……この状況で「修繕委員長なんて私には荷が重いですなあ〜」とか言えるほど、僕も冷たくはできませんよ……



結局、僕は修繕委員長になって、理事会を開催しない月に修繕委員会を開催して、その内容を理事会に出席して手短かに報告、協議することとした。そして修繕委員会は僕以外は自由参加でいいことにして、理事の方々の負担を減らすことにしたのだ……いずれおさまらなくなるだろうけど、今はこのぐらいで行くしかないかなあ……と、ため息をつきながら夕食を食べに家に戻るかえるくんであった……

(次回は次々号に掲載予定)